「マルチステークホルダー方針」

当社グループの経営理念は、「4S モデル」の追求です。これは「お客様を中心として、株主、従業員、社会の４者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、４者の満足度を高めていく」という考え方です。

当社は、この「4S モデル」を追求していくとともに、JT Group Purpose「心の豊かさを、もっと。」の実現に向け、「心の豊かさ」という提供価値を従業員、株主、取引先、地域社会などのマルチステークホルダーとの適切な協働を通じて創造し、製品やサービスを通じてお客様そして社会に届けてまいります。また、当社グループが社会とともに持続的に成長していくためには、生み出された収益・成果について、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、マルチステークホルダーへの適切な分配を進めてまいります。

記

１．従業員への還元

当社グループ及び当社は、持続的な成長及び付加価値の最大化に向け、人財の多様性に着目した成長支援を含む人財への投資や多様な個性がその能力を最大限発揮できる組織風土の醸成を通じた人的資本の更なる拡充を目指しております。

そうした中、「人財の多様性こそ、競争力の源泉である」という認識のもと、従業員のエンゲージメントや生産性向上につなげるべく、賃金の引上げを含む適切な賃金水準の担保はもとより、柔軟な働き方の拡充、よりよい職場環境づくり、多様化の推進、教育訓練等、人財への投資を実施し、従業員への持続的な還元を目指します。

（個別項目）

具体的には、当社は、フレックスタイムやテレワークに関する制度や仕事と家庭の両立支援に関する制度の拡充に加え、教育訓練等についても階層やニーズに合わせた学習・能力開発プログラムの拡充に取り組んでおります。また、賃金の引上げについては、事業動向や社会情勢等を踏まえながら労使で真摯な対話に取り組んでいます。

今後も人財への投資を継続していくことで、従業員への持続的な還元を進めていくとともに、より一層多様性を尊重する企業文化を創造していくことを目指してまいります。

２．取引先への配慮

当社はパートナップシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・　パートナーシップ構築宣言のＵＲＬ

【https://www.biz-partnership.jp/declaration/48795-05-02-tokyo.pdf】

当社は、今後も当社グループの経営理念「4S モデル」及び JT Group Purpose に基づき、これらの項目について着実な取組を進め、心豊かな社会づくりに貢献してまいります。

以上

令和 6 年 1 月 31 日

（令和 7 年 1 月 31 日　記載用語の一部変更による更新）

日本たばこ産業株式会社　代表取締役社長　寺畠 正道